

# FY 2024 1Q



## 決算説明会資料

～2024年3月期 第1四半期～

日本ハム株式会社 2023年8月1日



# CONTENTS

## 01

### 2024年3月期 実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期1Q 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 7 セグメント情報 加工事業本部
- 9 セグメント情報 食肉事業本部
- 11 セグメント情報 海外事業本部
- 12 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

### 2024年3月期 計画

- 14 計画ハイライト
- 18 2024年3月期計画 加工事業本部
- 20 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 22 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

### 2024年3月期 主な財務データ／参考資料

- 24 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 25 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 26 連結貸借対照表
- 27 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 29 外部環境／市況

※ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。

※ 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

※ 四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

※ 前第4四半期連結会計期間より、Breeders & Packers Uruguay S.A.（以下、「BPU」）に関連する牛肉事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの四半期損失は、要約四半期連結損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、税引前四半期利益は、継続事業の金額を表示しております。

# CONTENTS

## 01

2024年3月期

### 実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期1Q 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 7 セグメント情報 加工事業本部
- 9 セグメント情報 食肉事業本部
- 11 セグメント情報 海外事業本部
- 12 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

### 計画

- 14 計画ハイライト
- 18 2024年3月期計画 加工事業本部
- 20 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 22 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

### 主な財務データ／参考資料

- 24 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 25 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 26 連結貸借対照表
- 27 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 29 外部環境／市況

### 2024年3月期 1Q実績

売上高

**3,222** 億円

(前年比 +6.5%)

事業利益

**121** 億円

(前年比 +32.4%)

- 売上高は、加工事業の価格改定や食肉事業の各畜種で価格転嫁が進み増収。ボールパーク事業も好調に推移
- 事業利益は食肉事業の国産鶏肉と輸入食肉の伸長、ボールパーク事業の貢献等により増益

### 2024年3月期 通期計画

売上高

**12,600** 億円

(前年比 +0.0%)

事業利益

**380** 億円

(前年比 +48.5%)

- 国内外の疾病問題、世界的な景況感、飼料価格に影響を及ぼす地政学リスク等を鑑み、期初計画を変更せず

## 05 実績ハイライト① 2024年3月期1Q実績

(単位：億円)

	23年3月期1Q	24年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	3,024	<b>3,222</b>	198	6.5%
事業利益	92	<b>121</b>	30	32.4%
内) 継続事業	95	<b>128</b>	33	34.6%
事業利益率	3.1%	<b>4.0%</b>	0.9%	—
税引前四半期利益	147	<b>188</b>	41	27.6%
親会社に帰属する四半期利益	102	<b>117</b>	16	15.4%

## 06 実績ハイライト② セグメント別売上高、事業利益 実績

### 売上高

(単位：億円)

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年差	増減率
加工事業本部	990	<b>1,035</b>	45	4.6%
食肉事業本部	1,790	<b>1,939</b>	149	8.3%
海外事業本部	844	<b>752</b>	△92	△10.9%
ボールパーク・ その他事業	50	<b>87</b>	38	76.0%
消去調整他	△559	△ <b>531</b>	28	—
非継続事業	△91	△ <b>62</b>	30	—
<b>連結計</b>	<b>3,024</b>	<b>3,222</b>	<b>198</b>	<b>6.5%</b>

### 事業利益

(単位：億円)

	2023年 3月期1Q	2024年 3月期1Q	前年差	増減率
加工事業本部	12	<b>8</b>	△4	△35.2%
食肉事業本部	71	<b>102</b>	32	45.1%
海外事業本部	3	△ <b>3</b>	△6	—
ボールパーク・ その他事業	8	<b>25</b>	16	200.9%
消去調整他	△3	△ <b>11</b>	△8	—
<b>連結計</b>	<b>92</b>	<b>121</b>	<b>30</b>	<b>32.4%</b>

(単位：億円)

	23年3月期1Q	24年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	990	<b>1,035</b>	45	4.6%
事業利益	12	<b>8</b>	△4	△35.2%
事業利益率	1.2%	<b>0.8%</b>	△0.4%	—

### 売上高 増収

- ・ ハム・ソーセージのコンシューマ商品やデリ商品の業務用商品の価格改定が順調に推移
- ・ 乳製品・水産・エキス・一次加工も価格改定が順調に推移

### 事業利益 減益

- ・ 業務用商品はデリ商品を中心に価格改定が進み、利益率が改善
- ・ コンシューマ商品は主力商品の回復遅れとハム・ソーセージの低収益商品の構成比上昇に伴い、商品ミックスが悪化

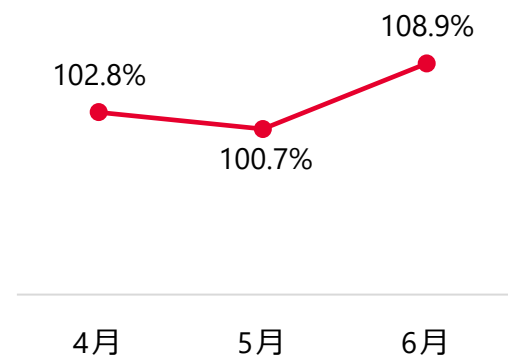
## チャネル別/コンシューマ商品別 売上実績 (前年比)

ハム・ソーセージ	数量	金額	デリ商品	数量	金額
シャウエッセン群		104.2%	チルドベーカリー群		101.5%
その他ウイナー群		109.8%	中華名菜群		85.6%
ウイナー群		105.7%	ハンバーグ・ミートボール群		107.8%
ハム・ベーコン群		101.8%	フライドチキン群		84.1%
コンシューマ計	101.5%	105.0%	コンシューマ計	88.7%	95.7%
業務用	89.6%	98.4%	業務用	104.3%	118.4%
<b>総計</b>	<b>99.0%</b>	<b>104.1%</b>	<b>総計</b>	<b>94.6%</b>	<b>102.9%</b>

## シャウエッセン売上高 前年比推移



## チルドピザ売上高 前年比推移



## 前年差増減要因分析

(単位：億円)

	増減	主な要因
ハム・ソーセージとデリ商品事業	△9	
外部要因	△38	
主原料価格	△20	円安による影響や米国パッカーの生産減少により豚肉原料が高止まり
副資材	△15	包材・資材、卵白末、羊腸の高騰
電燃料	△3	電力費の高騰
内部要因	29	
価格改定効果	33	数量効果 △4億円 単価効果 37億円
改善活動	△4	低収益商品の構成比上昇による商品ミックスの悪化 昨年よりも販促が増え、費用が増加
乳製品・水産・エキス・一次加工	6	各社が実施した価格改定効果が発現
DX費用	△1	
<b>合計</b>	<b>△4</b>	



(単位：億円)

	23年3月期1Q	24年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	1,790	<b>1,939</b>	149	8.3%
事業利益	71	<b>102</b>	32	45.1%
事業利益率	3.9%	<b>5.3%</b>	1.3%	—

**売上高  
増収**

- 輸入の各畜種の販売数量が伸長し、売上が拡大
- 国産・輸入各畜種とも相場高に対し、価格転嫁を実施

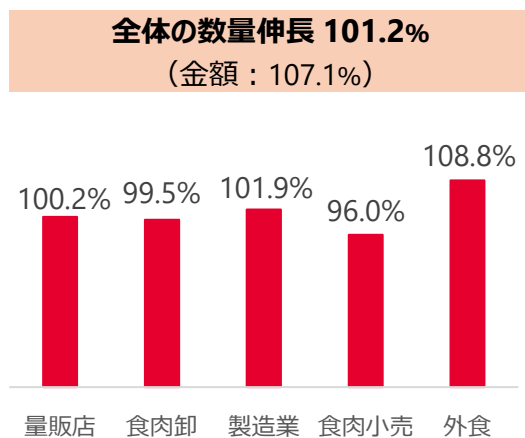
**事業利益  
増益**

- 国産鶏肉は飼料高が継続も、相場高や「桜姫」「北のこめこっこ」等のブランド鶏肉の拡販で利益伸長
- 輸入食肉は外食・食肉卸チャネルへの販売強化や仕入方法の見直しにより利益が改善
- フード販売は畜種ミックスの改善や深耕販売が進み数量が拡大

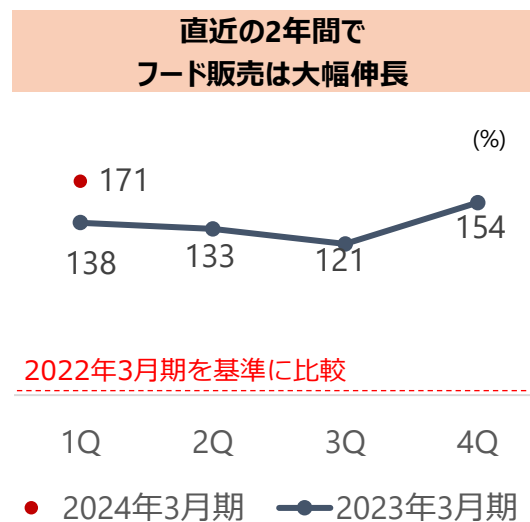
## フード4社 1Q畜種別売上数量・金額実績（前年比）

国産	数量	金額	輸入	数量	金額
牛肉	101.2%	101.3%	牛肉	108.1%	106.5%
豚肉	97.7%	105.7%	豚肉	101.2%	106.7%
鶏肉	98.5%	117.6%	鶏肉	105.2%	102.6%
国産合計	98.4%	108.6%	輸入合計	103.7%	105.4%

## フード4社 1Qチャネル別売上数量実績



## フード4社利益（2022年3月期比）



## 前年差増減要因分析

(単位：億円)

	増減	主な要因
国産牛・豚事業	△4	生産：飼料コストの高騰が影響 荷受：豚肉相場急騰で価格転嫁に遅れ
国産鶏事業	19	生産：ブランド食肉の価格転嫁を進め、 飼料価格高騰の影響をカバー 荷受：自社生産増産や社外調達強化で数量増
輸入食肉事業	4	チルド牛肉・豚肉は改善したが、前期1Q時に 好調だった鶏肉の反動が影響
フード販売	12	量販：都市部での販売数量増加 外食：牛肉群の回復で畜種ミックスが改善
DX費用	1	
その他	0	
<b>合計</b>	<b>32</b>	

(単位：億円)

	23年3月期1Q	24年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	844	<b>752</b>	△92	△10.9%
事業利益	3	<b>△3</b>	△6	—
事業利益率	0.4%	<b>—</b>	—	—

## 売上高 減収

- ・ 豪州の牛肉販売価格の下落
- ・ 欧州の日本向け豚肉輸出量の減少

## 地域別事業利益内訳、前年差要因分析

(単位：億円)

	24年 3月期1Q	前年差	増減率	主な要因
豪州	△8	△11	—	
オーストラリア	△1	△8	—	生体価格の下落以上に、販売単価も下がり減益
ウルグアイ	△7	△3	—	計画的な減産で損失低減を図ったが、輸出価格が下落し減益
米州	7	6	—	北米の加工食品が好調で数量増加、昨年比で原料価格が落ち着き増益
アジア・欧州	2	0	△0.6%	トルコの鶏肉事業で販売単価が上昇したが、飼料価格等が高騰し減益
その他	△3	△1	—	
合計	<b>△3</b>	<b>△6</b>	—	

## 地域別売上高実績内訳

(単位：億円)

	24年 3月期1Q	前年差
	321	△43
	256	△2
	65	△41
	305	5
	128	△62
	—	—
合計	<b>752</b>	<b>△92</b>

## 外部顧客売上高

(単位：億円)

	24年 3月期1Q	前年差
	299	△19
	237	11
	62	△30
	86	5
	75	△12
	—	—
合計	<b>459</b>	<b>△26</b>

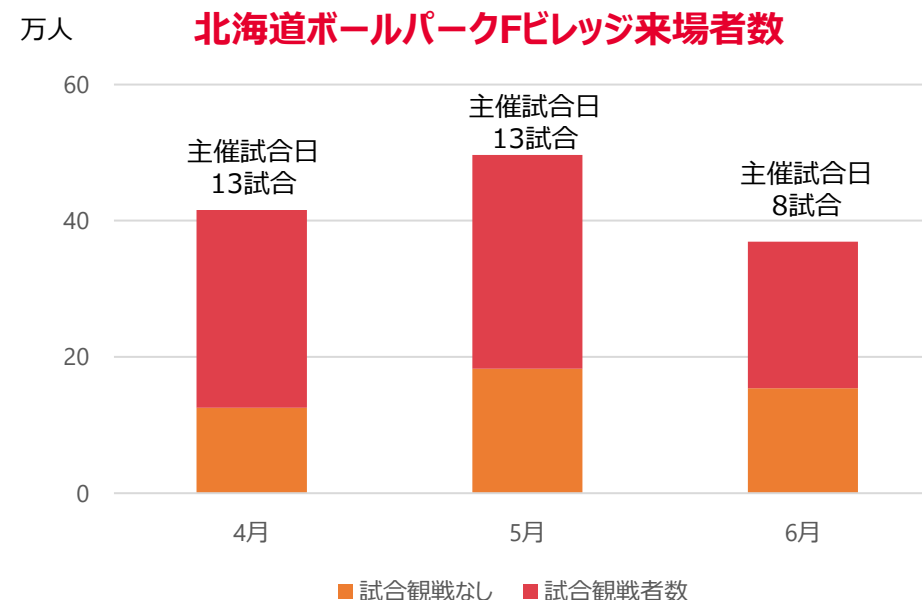
(単位：億円)

	23年3月期1Q	24年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	50	<b>87</b>	38	76.0%
事業利益	8	<b>25</b>	16	200.9%
事業利益率	16.5%	<b>28.2%</b>	11.7%	—

※上記数字は、ボールパーク事業及び新規事業の合計

### 売上高/事業利益

- 試合観戦だけではなく、試合前後の時間帯や非試合日での集客力向上により、北海道ボールパークFビレッジ全体の来場者数が増加し、売上高が増加
- 自社保有施設となり、飲食・グッズ・広告(スポンサーシップ)収入が収益性の向上に寄与



# CONTENTS

## 01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期1Q 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 7 セグメント情報 加工事業本部
- 9 セグメント情報 食肉事業本部
- 11 セグメント情報 海外事業本部
- 12 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 14 計画ハイライト
- 18 2024年3月期計画 加工事業本部
- 20 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 22 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 24 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 25 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 26 連結貸借対照表
- 27 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 29 外部環境／市況

## 14 計画ハイライト① 2024年3月期通期計画

**売上高/** 国内外の疾病問題、世界的な景況感、飼料価格に影響を及ぼす地政学リスクなどを鑑み、  
**事業利益** 期初計画を変更せず

(単位：億円)

	23年3月期通期	24年3月期通期	前年差	増減率
売上高	12,598	<b>12,600</b>	2	0.0%
事業利益	256	<b>380</b>	124	48.5%
内) 継続事業	282	<b>395</b>	113	40.1%
事業利益率	2.2%	<b>3.1%</b>	0.9%	—
税引前当期利益	222	<b>340</b>	118	53.4%
親会社に帰属する当期利益	166	<b>230</b>	64	38.2%
ROE	3.4%	<b>4.6%</b>	1.2%	—
ROIC	2.4%	<b>3.5%</b>	1.1%	—

※ 売上高事業利益率は、非継続事業調整後の事業利益を用いて算出しております。

## セグメント別事業利益計画

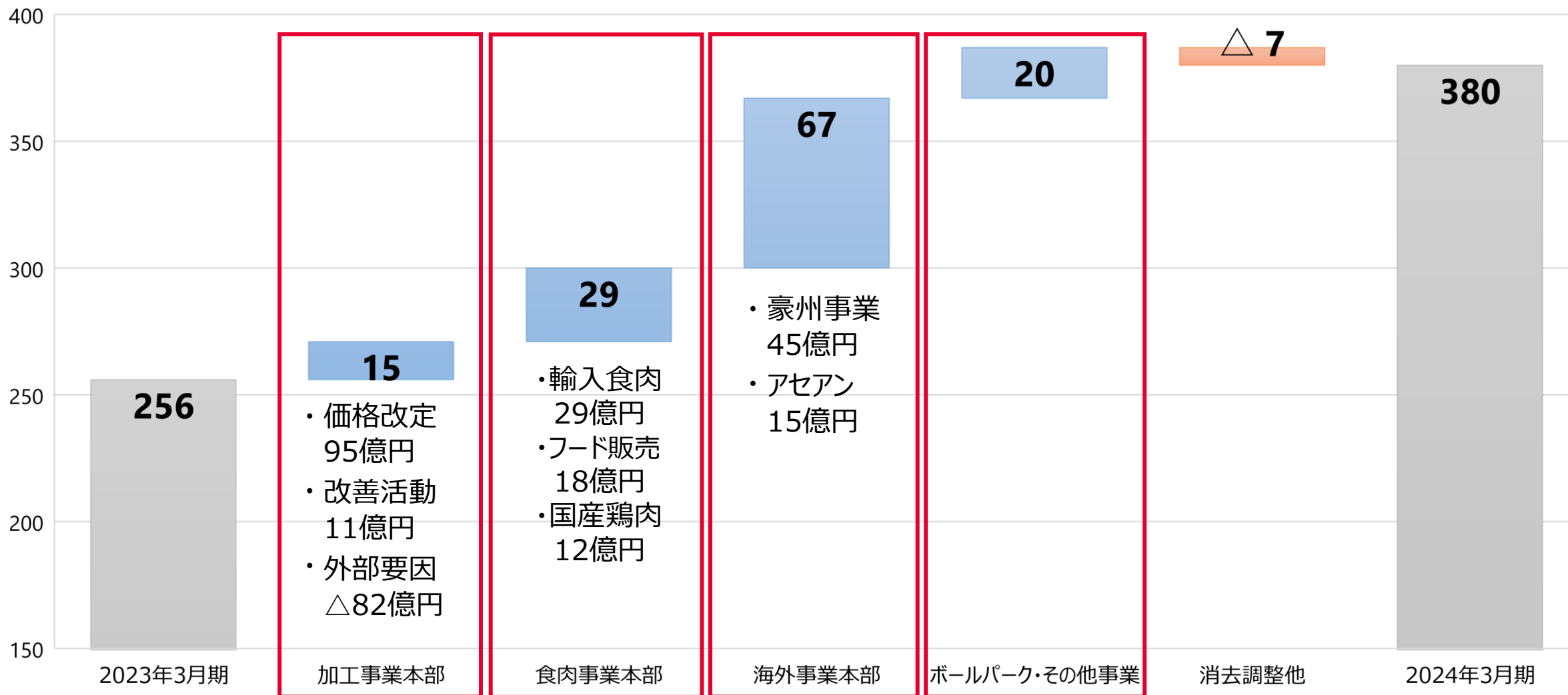
(単位：億円)

	2024年3月期						
	1Q	上期		下期		通期	
	実績	期初計画	前年差	期初計画	前年差	期初計画	前年差
加工事業本部	<b>8</b>	17	4	48	11	65	15
食肉事業本部	<b>102</b>	145	3	175	26	320	29
海外事業本部	<b>△3</b>	△ 7	2	24	65	17	67
ボールパーク・ その他事業	<b>25</b>	66	47	△ 51	△ 27	15	20
消去調整他	<b>△11</b>	△ 21	△ 8	△ 16	0	△ 37	△ 7
<b>合計</b>	<b>121</b>	<b>200</b>	<b>48</b>	<b>180</b>	<b>76</b>	<b>380</b>	<b>124</b>

# 16 計画ハイライト③ 通期事業利益計画 前年差の主な要因分析

2024年3月期通期見込み

(単位：億円)





# CONTENTS

## 01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期1Q 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 7 セグメント情報 加工事業本部
- 9 セグメント情報 食肉事業本部
- 11 セグメント情報 海外事業本部
- 12 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 14 計画ハイライト
- 18 2024年3月期計画 加工事業本部
- 20 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 22 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 24 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 25 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 26 連結貸借対照表
- 27 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 29 外部環境／市況

(単位：億円)

	23年3月期通期 実績	24年3月期通期 期初計画	前年差	増減率
売上高	4,177	<b>4,200</b>	23	0.5%
事業利益	50	<b>65</b>	15	29.5%
事業利益率	1.2%	<b>1.5%</b>	0.3%	—

### 売上高 増収

- デリ商品のコンシューマ商品は価格改定の影響で販売数量の回復が遅れるが、ハム・ソーセージや業務用商品の販売数量の回復により伸長

### 事業利益 増益

- 原料価格の高騰や将来のブランド価値向上に向けた販促経費の増加でコストは前年より悪化
- 遅れている主力ブランド回復やモーニングサーブ拡販による商品ミックスの改善で粗利額を確保
- 高生産性ラインへの集中や省人化、商品統廃合により生産性を改善

## チャネル別/コンシューマ商品別 通期売上計画（前年比）

ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
シャウエッセン群	104.1%	チルドベーカリー群	104.2%
その他ウインナー群	107.2%	中華名菜群	91.4%
ウインナー群	105.2%	ハンバーグ・ミートボール群	103.7%
ハム・ベーコン群	86.7%	フライドチキン群	85.7%
コンシューマ計	102.5%	コンシューマ計	95.5%
業務用	98.9%	業務用	106.0%
<b>総計</b>	<b>101.9%</b>	<b>総計</b>	<b>99.1%</b>

## 利益の最大化に向けた商品ポートフォリオの再構築の始動 顧客視点に立ったブランド戦略や商品開発を推進

- ・ ロースハム他 価格の適正化による利益の追求
- ・ シャウエッセン 高生産性ラインへの集中化  
ブランドCMを継続的に投入
- ・ チルドピザ ミニピザを伸長させることで商品ミックスの改善
- ・ 中華名菜 新形態の投入でマーケットを拡大
- ・ モーニングサブ 製造体制の整備、秋に大袋商品の展開で更なる拡販

## 利益計画差増減要因分析

（単位：億円）

	通期 期初計画	通期 見込み	通期 差異	主な要因
ハム・ソーセージと デリ商品	34	25	△10	
外部要因	△103	△82	22	・豚肉やチーズ等の調達価格が改善見込みも、為替や世界的な調達環境の変化に注視  （副資材 6億円・電燃料 9億円）
主原料価格	△49	△43	7	
副資材・電燃料	△54	△39	15	
内部要因	138	106	△31	【価格改定効果】 （数量効果△4億円・単価効果△2億円） ・中華名菜の販売が回復せず計画を下回る見込み
価格改定効果	101	95	△6	【改善活動】 ・低収益商品の増加で粗利益率低下 ・主力ブランド回復に向けた販促経費の増加
改善活動	37	11	△26	
乳製品・水産・エキス・ 一次加工	1	6	5	・高収益の自社工場製品比率を向上
DX費用	△20	△16	4	
<b>合計</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>0</b>	

(単位：億円)

	23年3月期通期 実績	24年3月期通期 期初計画	前年差	増減率
売上高	7,501	<b>7,200</b>	△301	△4.0%
事業利益	291	<b>320</b>	29	10.0%
事業利益率	3.9%	<b>4.4%</b>	0.5%	—

### 売上高 減収

- 各畜種とも相場高を見込み、フードの販売・提案力を強化し、価格転嫁を実施
- 都市部を中心に外食チャネルへの牛肉販売を強化し、売上高・数量を拡大

### 事業利益 増益

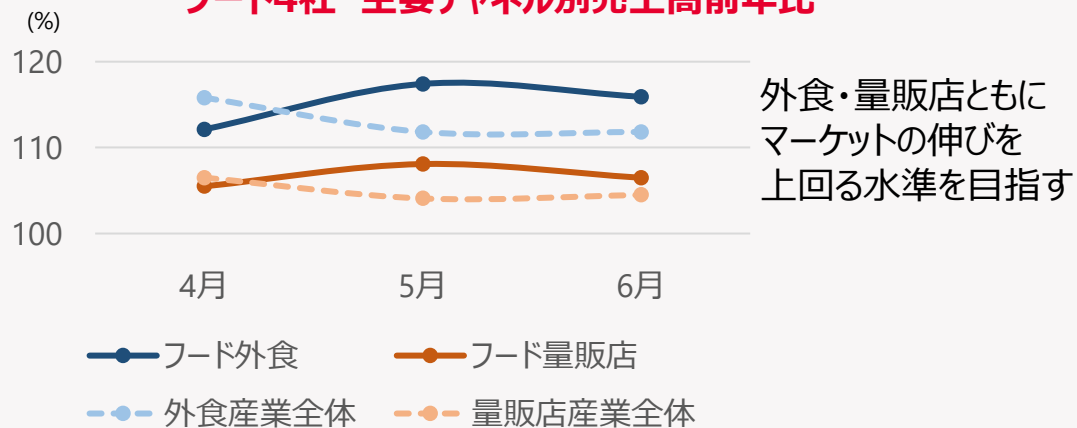
- 国産ブランド鶏肉の拡販や、リブランディングした国産豚肉「麦小町」の導入を強化し利益を確保
- 輸入食肉の先行き不透明な環境に対し、利益を意識した調達を徹底
- フード販売におけるチャネルごとの適正利益管理の徹底

## フード販売 売上計画

### 営業スタイル・エリア戦略等の基盤整備、 チャンネル・商品施策で利益を拡大

- 量販および外食専門部署を設置し、エリア x チャンネル戦略による競争優位性を確立
- デジタル活用による新たなルートセールモデルの試験運用
- 国産鶏ブランド「桜姫」に注力、「北のこめこっこ」で北海道の付加価値、社会的価値等を訴求し販売を強化

フード4社 主要チャンネル別売上高前年比



## 通期 利益計画差増減要因分析

(単位：億円)

	通期 期初計画	通期 見込み	通期 差異	主な要因
国産牛・豚事業	0	△9	△9	生産：飼料、電燃料の高騰が続く見込み 荷受：節約志向で高単価商品の販売鈍化
国産鶏事業	5	12	7	生産：処理羽数回復 荷受：ブランド食肉販売で収益性向上、社外調達強化で利益額確保
輸入食肉事業	34	29	△5	北米豚肉の供給減少や鳥インフルエンザ影響で、供給不安が懸念され不透明感が強まる
フード販売	10	18	8	量販：深耕販売と適正利益の確保 外食：国産牛・輸入牛の販売強化
DX費用	△12	△8	4	
その他	△8	△12	△4	
<b>合計</b>	<b>29</b>	<b>29</b>	<b>0</b>	

出典：流通三団体 スーパーマーケット販売統計調査  
一般社団法人日本フードサービス協会

(単位：億円)

## 地域別売上計画

	23年3月期通期実績	24年3月期通期期初計画	前年差	増減率
売上高	3,214	2,950	△264	△8.2%
事業利益	△50	17	67	—
事業利益率	—	0.6%	—	—

### 【豪州】

- 北米産牛肉の生産量は減少する一方、豪州産は昨年より生産量が増加し販売環境が好転
- 北米向け高付加価値商品の売上を拡大

### 【米州】

- 鶏肉加工品の販売エリア拡大や、アジアからの供給体制の構築により新商品を展開

## 通期 利益計画差増減要因分析

(単位：億円)

	通期期初計画	通期見込み	通期差異	主な要因
豪州	53	45	△8	
オーストラリア	40	33	△7	牛肉販売価格の回復遅れが上期まで継続
ウルグアイ	13	12	△1	赤字幅縮小に向けて早期の事業譲渡を目指す
米州	5	9	4	鶏肉加工品の生産拡大に目途が立ち数量拡大
アジア・欧州	11	15	4	トルコの鶏肉事業の価格転嫁やアジアでの加工品内販で利益伸長
その他	△1	△1	0	
合計	67	67	0	

## 地域別事業利益内訳

(単位：億円)

24年3月期通期
0
15
△15
26
3
△12
17

# CONTENTS

## 01

2024年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期1Q 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 7 セグメント情報 加工事業本部
- 9 セグメント情報 食肉事業本部
- 11 セグメント情報 海外事業本部
- 12 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 14 計画ハイライト
- 18 2024年3月期計画 加工事業本部
- 20 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 22 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

主な財務データ／参考資料

- 24 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 25 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 26 連結貸借対照表
- 27 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費等
- 29 外部環境／市況

## 24 2023年3月期連結業績概要及び2024年3月期計画

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画					
	1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	増減率	上期計画	増減率	通期計画	増減率
① 売上高	302,378	618,688	1,259,792	322,175	6.5%	620,000	0.2%	1,260,000	0.0%
② 売上原価	255,511	526,185	1,082,760	267,666	4.8%	517,000	△1.7%	1,056,000	△2.5%
売上総利益	46,867	92,503	177,032	54,509	16.3%	103,000	11.3%	204,000	15.2%
売上総利益率	15.5%	15.0%	14.1%	16.9%	-	16.6%	-	16.2%	-
③ 販売費及び一般管理費	39,470	80,642	166,080	41,557	5.3%	81,000	0.4%	168,000	1.2%
その他の収益・費用	6,119	9,035	6,907	4,680	-	△500	-	△3,000	-
金融収益・費用	△442	58	1,530	1,106	-		-		-
持分法による投資損益	1,646	2,646	2,773	47	△97.1%	500	△81.1%	1,000	△63.9%
税引前四半期利益	14,720	23,600	22,162	18,785	27.6%	22,000	△6.8%	34,000	53.4%
法人所得税費用	3,811	6,070	4,770	5,763	51.2%	6,500	7.1%	10,500	120.1%
税率	25.9%	25.7%	21.5%	30.7%	-	29.5%	-	30.9%	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益	10,182	15,480	16,637	11,749	15.4%	13,000	△16.0%	23,000	38.2%
事業利益	9,170	15,204	25,596	12,140	32.4%	20,000	31.5%	38,000	48.5%

持分法による投資損益：前年差▲16億円

北米牛肉処理会社の業績悪化により、持分法による投資損益が大幅に減少



## 25 2023年3月期品種別売上高実績及び2024年3月期計画

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画								
	1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	増減率	数量 伸長率	上期計画	増減率	数量 伸長率	通期計画	増減率	数量 伸長率
ハム・ソーセージ	29,924	62,683	130,161	31,038	3.7%	△ 1.1%	64,000	2.1%	△ 1.8%	132,000	1.4%	△ 1.4%
加工食品	55,052	116,383	235,166	58,720	6.7%	△ 4.2%	119,000	2.2%	△ 0.7%	237,000	0.8%	△ 0.4%
食肉	189,890	384,509	791,972	203,750	7.3%	△ 1.3%	381,000	△ 0.9%	△ 0.2%	787,000	△ 0.6%	△ 0.3%
牛肉	75,708	153,883	312,372	79,717	5.3%	3.6%	151,000	△ 1.9%	1.0%	307,000	△ 1.7%	0.3%
豚肉	60,074	121,533	251,001	65,240	8.6%	△ 0.6%	119,000	△ 2.1%	△ 1.6%	246,000	△ 2.0%	△ 1.7%
鶏肉	49,192	99,320	209,570	54,541	10.9%	△ 2.5%	102,000	2.7%	0.2%	216,000	3.1%	0.3%
その他食肉	4,916	9,773	19,029	4,252	△ 13.5%	△ 37.7%	9,000	△ 7.9%	2.4%	18,000	△ 5.4%	1.0%
乳製品	8,932	18,126	36,194	9,890	10.7%	△ 0.9%	18,500	2.1%	△ 3.0%	37,000	2.2%	1.2%
その他(水産含む)	18,580	36,987	66,299	18,777	1.1%	-	37,500	1.4%	-	67,000	1.1%	-
合計	302,378	618,688	1,259,792	322,175	6.5%	-	620,000	0.2%	-	1,260,000	0.0%	-

※品種別の売上高はセグメント合計での算出となるため、セグメント売上高とは合致いたしません  
 ※非継続事業(BPU)を除く実績

## 26 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22年期末	23年期末	24年1Q	対前期末 増減率(%)	対前期末 増減額
現金及び現物同等物	85,374	64,986	74,987	15.4	10,001
営業債権及びその他の債権	136,017	146,660	138,087	△ 5.8	△8,573
棚卸資産	119,980	141,930	151,942	7.1	10,012
生物資産	32,755	27,984	29,104	4.0	1,120
その他	40,180	46,458	46,856	0.9	398
流動資産合計	414,306	428,018	440,976	3.0	12,958
有形固定資産	345,022	364,381	363,772	△ 0.2	△609
使用権資産	46,090	40,898	40,746	△ 0.4	△152
生物資産	1,240	1,517	1,536	1.3	19
その他	102,555	102,341	104,925	2.5	2,584
非流動資産合計	494,907	509,137	510,979	0.4	1,842
資産合計	909,213	937,155	951,955	1.6	14,800
有利子負債	90,056	102,199	99,536	△ 2.6	△2,663
営業債務及びその他の債務	103,719	106,027	114,766	8.2	8,739
その他	88,144	70,310	70,624	△ 0.9	△84
流動負債合計	281,919	278,536	284,926	2.3	6,390
有利子負債	121,351	139,856	139,756	△ 0.1	△100
その他	16,389	15,982	16,358	0.9	376
非流動負債合計	137,740	155,838	156,114	0.2	276
親会社の所有者に帰属する持分	479,069	492,913	499,889	1.4	6,976
非支配持分	10,485	9,868	11,026	11.7	1,158
資本合計	489,554	502,781	510,915	1.6	8,134
負債・資本合計	909,213	937,155	951,955	1.6	14,800

### 主な増減

#### 【流動資産合計】

連結対象外となった会社との取引減少等により営業債権及びその他の債権が前期末比5.8%減の1,381億円となったが、現金及び現金同等物が前期末比15.4%増の750億円、主に輸入品を中心とした牛・豚の食肉在庫が増加したことから棚卸資産が前期末比7.1%増の1,519億円となったこと等により、前期末比3.0%増の4,410億円となった。

#### 【非流動資産】

有形固定資産が前期末比0.2%減の3,638億円となったが、無形資産及びのれんが前期末比8.9%増の220億円となったことで、前期末比0.4%増の5,110億円となった。

負債は、有利子負債が前期末比1.1%減の2,393億円となったが、相場高と需要回復に向けた仕入の増加等により営業債務及びその他の債務が前期末比8.2%増の1,148億円となったことから、前期末比1.5%増の4,410億円となった。

## 27 連結キャッシュ・フロー計算書/設備投資額、減価償却費等

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	22年3月期1Q	23年3月期1Q	24年3月期1Q
税引前四半期利益	*15,465	14,720	18,785
減価償却費	8,949	9,369	9,786
受取債権の増減	1,096	△ 3,057	9,793
棚卸債権増減	△ 14,981	△ 22,878	△ 7,985
生物資産増減	△ 80	41	883
営業債務増減	8,105	10,801	7,147
その他	△ 6,000	△ 5,127	△ 2,132
営業CF	12,554	3,869	36,277
固定資産取得・売却	△ 14,747	△ 27,013	△ 11,184
その他	△ 24	△ 3,432	1,035
投資活動CF	△ 14,771	△ 30,445	△ 10,149
財務活動CF	△ 7,649	16,098	△ 20,104

※22年3月期1Qのみ非継続事業(BPU)を含む実績

### 設備投資額、減価償却費

(単位：百万円)

	23年3月期	24年3月期			
	1Q実績	1Q実績	増減率(%)	前年差	通期計画
設備投資合計	17,769	10,569	△ 40.5	△ 7,200	70,100
加工事業本部	1,529	1,719	12.4	190	12,100
食肉事業本部	3,513	4,617	31.4	1,104	29,200
海外事業本部	918	1,149	25.2	231	10,400
ボールパーク・その他	8,459	544	△ 93.6	△ 7,915	200
消去調整他	3,350	2,540	△ 24.2	△ 810	18,200
減価償却費	9,353	9,942	6.3	589	40,700

### ※P27 事業利益算出方法

(単位：百万円)

	2023年3月期実績			2024年3月期計画		
	1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	上期計画	通期計画
④ 営業利益①-②-③	7,397	11,861	10,952	12,952	22,000	36,000
⑤ 為替差損益	△ 2,759	△ 5,973	△ 10,079	△ 919	-	-
⑥ IFRSへの調整他	694	1,367	△ 6,992	1,127	-	-
⑦ 非継続事業への調整	292	1,263	2,427	604	-	-
事業利益④-⑤-⑥-⑦	9,170	15,204	25,596	12,140	20,000	38,000

- 営業活動によるキャッシュ・フロー

棚卸資産の増加80億円等があったが、税引前四半期利益188億円、減価償却費及び償却費98億円、営業債権及びその他の債権の減少98億円等により、363億円の純キャッシュ増となった。

- 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産等の取得112億円等により、101億円の純キャッシュ減となった。

- 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入債務による調達311億円等があったが、現金配当113億円、短期借入金の減少327億円等により、201億円の純キャッシュ減となった。

# CONTENTS

## 01

2023年3月期

実績／セグメント別の実績

- 4 2024年3月期1Q 決算サマリー
- 5 実績ハイライト
- 7 セグメント情報 加工事業本部
- 9 セグメント情報 食肉事業本部
- 11 セグメント情報 海外事業本部
- 12 セグメント情報 ボールパーク・その他事業

## 02

2024年3月期

計画

- 14 計画ハイライト
- 18 2024年3月期計画 加工事業本部
- 20 2024年3月期計画 食肉事業本部
- 22 2024年3月期計画 海外事業本部

## 03

2024年3月期

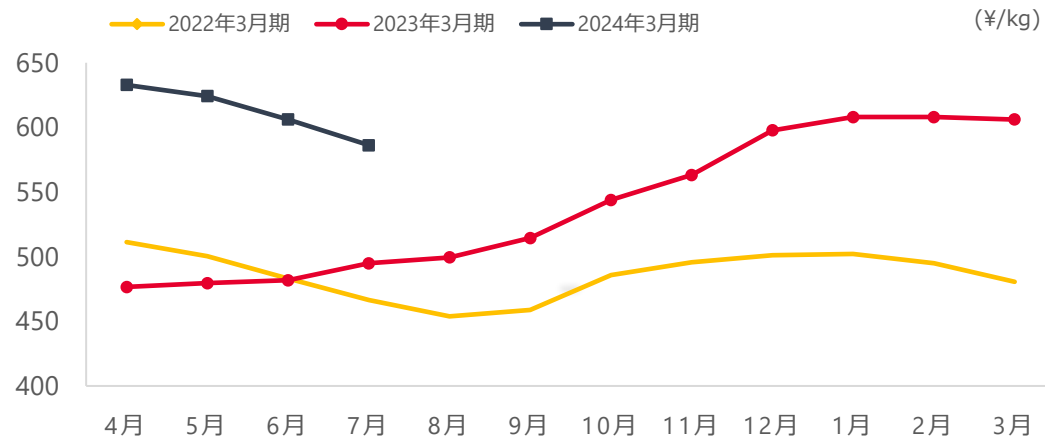
主な財務データ／参考資料

- 24 2023年3月期連結業績概要及び  
2024年3月期計画
- 25 2023年3月期品種別売上高実績及び  
2024年3月期計画
- 26 連結貸借対照表
- 27 連結キャッシュ・フロー計算書及び  
設備投資額、減価償却費
- 29 外部環境／市況



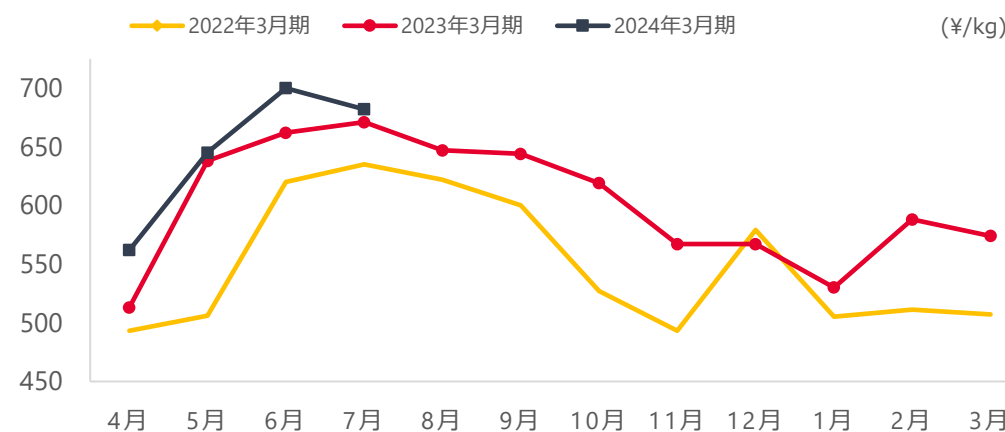
## 国産鶏肉相場

出典：鶏肉加重平均※食品産業新聞社『畜産日報』掲載分から単純平均単価



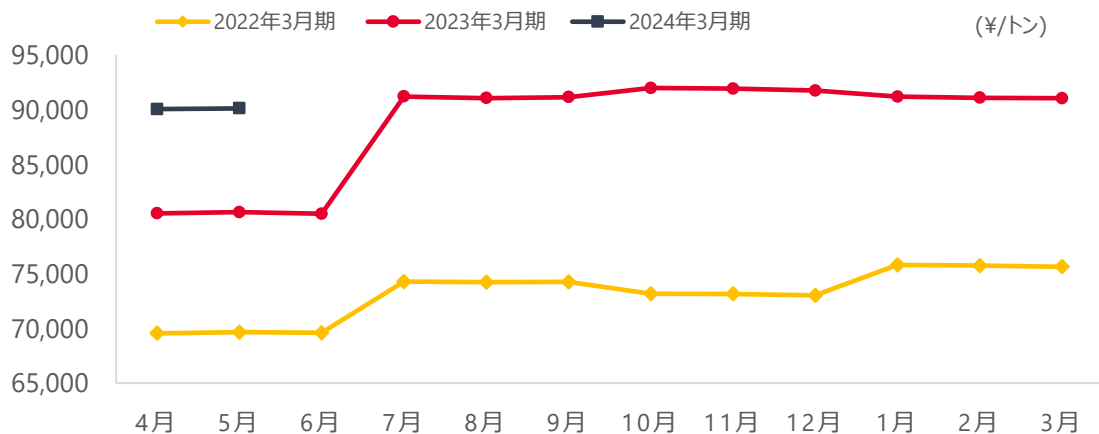
## 国産豚肉枝肉卸売価格

出典：上物 東京食肉市場平均価格



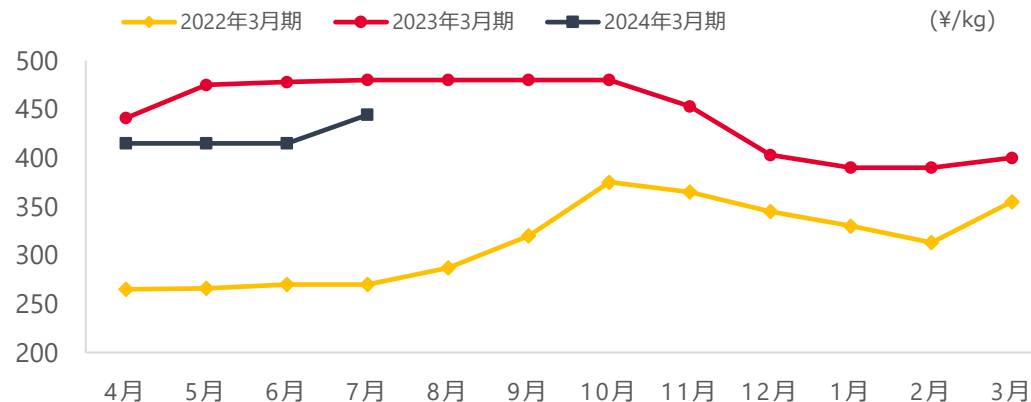
## 配合飼料価格

出典：ALIC

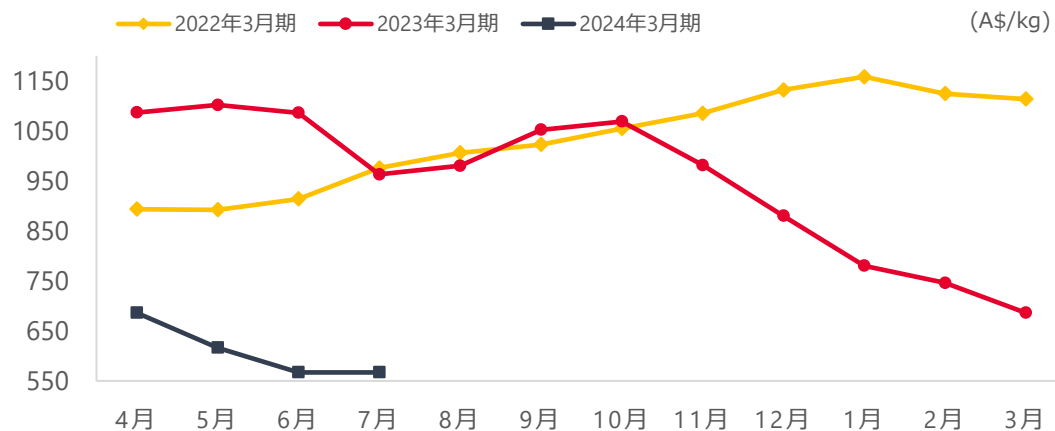


## ブラジル産鶏もも肉 日本国内価格

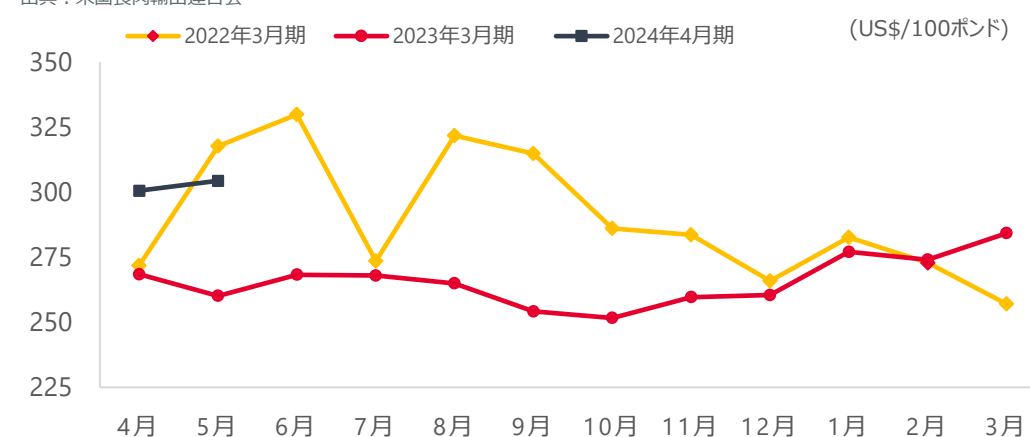
出典：ALIC(農林水産省「食鳥市況情報」)、食品産業新聞社畜産日報掲載分から単純平均単価



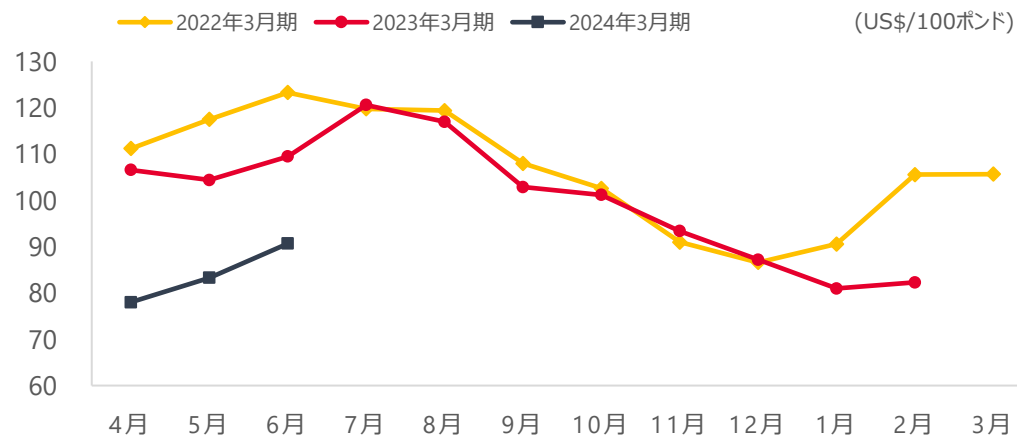
### 豪州産若齢牛価格(生産者販売価格) 出典：MLA



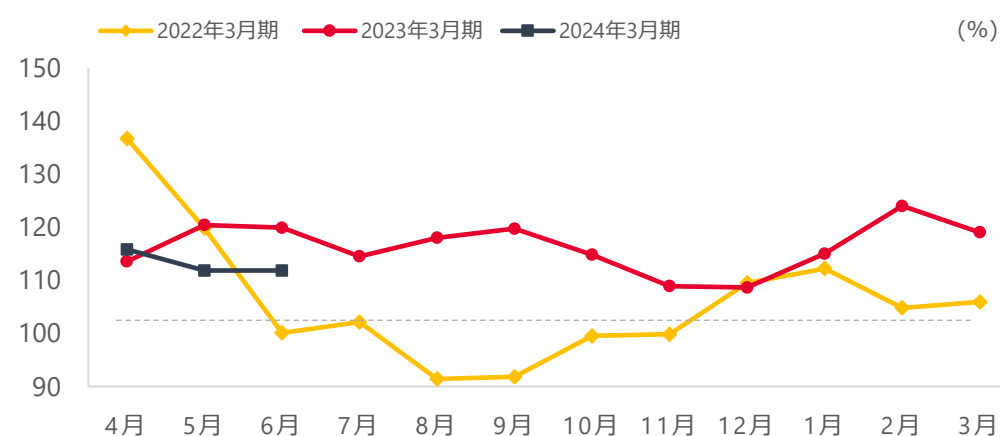
### 米国産牛肉カットアウトバリュー(卸売指標価格) 現地価格 出典：米国食肉輸出連合会



### 米国産豚肉カットアウトバリュー(枝肉ベース) 現地価格 出典：ALIC



### 外食売上高前年同月比 出典：一般社団法人日本フードサービス協会



## お問合せ先

〒141-6013 東京都品川区大崎2-1-1

Think Park Tower

日本ハム株式会社 広報IR部

電話：03-4555-8024

メールアドレス：[nhfoods.ir@nipponham.co.jp](mailto:nhfoods.ir@nipponham.co.jp)

### 見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。